

平成29年度 新産業創造事業化研究会 新事業探索（第1回）  
「新事業探索オープンセミナー」

## 「地方に眠る優れた技術をビジネスにする」

講師：合同会社 SARR 代表執行社員・京都工芸繊維大学 特任教授 松田 一敬

日本の地方には優れた技術が眠っています。日本の大企業は東京・名古屋・大阪に集中していますが、優秀な大学・高等専門学校は全国各地にあり、それ以外にも優れた技術を持つ企業が地方にはたくさんあります。しかし、それがなかなか大きなビジネスにつながっていないのが現状です。技術開発型のビジネス構築は通常の売り上げ、キャッシュフローをベースとしたものとは異なります。また、支援する側のアドバイスも通常とは異なります。

そこで、本セミナーでは地方から技術をベースにして事業展開を行おうとする事例（医療機器とそれ以外）を取り上げ、その課題と解決策について議論しました。

### ■第1部：講演（オープン形式）

- ・米国の小さい会社からイノベティブが生まれた：Yahoo の Jarry Jang 氏はスタンフォード大学在学中に検索エンジンを開発し事業化した。また、Mark Zuckerberg 氏は、ハーバード大学在学中に人間の根本的欲求を満たすために Facebook を立ち上げた。Google、Apple も同様であり、米国ではベンチャー企業から世界的な企業へと発展している。
- ・日本でも地方に優れた技術を持つ企業（メロディ：遠隔医療等）や優秀な研究をしている大学等も多いが、グローバル企業にまで発展できてない。
- ・デザインシンキング：Zuckerberg 氏は、女性との出会い環境について真剣に考え Facebook を開発した。自分が解決したい課題をどうやって解決するかがデザインシンキングであり、モノだけではなく地域のデザインも同様である。
- ・オープンイノベーション：自社に必要な技術を外部から導入したり、自社に不要な事業を外部に出すことにより経営基盤の強化を図る。Google は YouTube を買収し自社の事業とした。
- ・オープンイノベーションの拠点づくりは、アカデミア、中小中堅企業、大企業、投資家の連携が重要である。
- ・医療機器認証：医療機器の認定は過去の認証事例を工夫改良したと申請する方が、新たにこんな技術を開発したと申請するより認証許可が得やすい。

### ■第2部 討議（会員のみクローズ形式）

議題：複合材料を用いた車椅子の技術開発に関する意見交換

会員の車椅子技術開発への意向、車椅子の視察状を説明し、今後の進め方について意見交換をした。



## ■講演風景

### 第1部（講演）

